

人材育成研修会

参加者募集！

地域資源を活かした事業の成長・発掘に向けて、経営戦略の立て方や実践的な販路開拓・ブランド構築のノウハウを学べます。

こんな方におすすめ！

- ✓ 経営戦略の立て方を学びたい
- ✓ 地域資源を活かした商品を開発したい
- ✓ 販路開拓やブランドづくりを進めたい
- ✓ ほかの事業者の取組事例を聞きたい

第1回

経営改善戦略の立て方

～理念から計画までの道筋を描く～

第1部 講義

なぜ経営戦略が必要なのか？

～地域資源を活かす事業こそ“戦略”が必要～



講師 西原 州康 氏

株式会社オフィス総合研究所 代表取締役

IT機器販売会社を経営しつつ、2002年に中小企業診断士資格を取得し、中小企業のコンサルティングに取り組む。2013年より広島県の依頼で農業支援に取り組み、主に農業者への経営計画策定支援を行っている。農山漁村発イノベーションデジタル推進員として電子化支援等の取組実績を持つ。

第2部 事例紹介・座談会

経営戦略を描く、その実践と成果

令和7年度に本事業へ参加し、経営戦略を策定した事業者と、その支援を行った専門家が登壇。戦略づくりの過程や実践の成果についてお話いただきます。

登壇者

- ・上村 利樹氏（上村農園・令和7年度参加事業者）
- ・西原 州康氏（株式会社オフィス総合研究所）

第2回

地域資源を活かした実践と販路開拓戦略

～ブランドをつくり、売る～

日時

10月7日（水）13:00～16:00

会場

広島グリーンアリーナ小会議室
（広島市中区基町4-1）

第1部 講義

地域連携による販路開拓とブランド構築

～地域の魅力をブランドに変え、選ばれる商品へ～



講師 畦地 履正 氏

株式会社四万十ドラマ 代表取締役

「四万十川に負担をかけないものづくり」をコンセプトに、生産者や地域と共に歩む地域商社「株式会社四万十ドラマ」を運営。地元資源の栗を「しまんと地栗」としてブランド化しながら、「しまんと地栗」をはじめとした産地化や販売促進にも力を入れ、しまんと流域農業organicプロジェクトも発足。四万十の産業・暮らし・風景が100年後も残るよう、次世代に向けた地域産業の仕組みづくりに挑戦している。

第2部 事例紹介・座談会

八木灘地区の食材を用いた ご当地おでん誕生に向けて

令和7年度に本事業へ参加した事業者と、商品開発を支援する専門家が登壇。地域資源を活用したご当地おでん開発の経緯や、ブランドづくり・販路開拓に向けた取組についてお話いただきます。

登壇者

- ・新川 隼人氏（株式会社新川・令和7年度参加事業者）
- ・畦地 履正氏（株式会社四万十ドラマ）

対象

県内の農林漁業者、食品関連事業者、
団体、自治体職員等

参加費

無料 ※各回のみ参加も可能です

お申込み方法

右記QRコードから
お申込みください。

申込締切

第1回 開催済
第2回 10月5日（月）



オンライン配信も実施します！

会場参加／オンライン参加を
お選びいただけます。



お問合せ

地域資源活用・地域連携広島県サポートセンター
電話：082-909-4191 ※月～金 9:00-17:00
担当：企画推進員 田形、平山、磯邊、馬田

（広島県農林水産局販売・連携推進課内）
E-mail：hiroshima-sc@e-scb.co.jp